

2020年度は、新しい生活様式の中で「サポートオフィスが今できることは何か?」「チャレンジすべきことは何か?」を常に考え、実行に移してきた1年でした。ここからは、今年度の振り返りと共に、2021年度に向けたスタッフの意気込みをお届けします。

Q1 2020年度で一番印象的だった出来事は?
A1 オンラインでファンディングの対面ではない新しい形式での出会いで「みんなの力と力があつまった。ありがとうごさいます。」
A2 現場の皆さまと具体的な事業で一緒に頑張りました。 竜田亮子

Q2 2021年度に実現したいことは?
A1 全てのイベントをオンラインで開催したい。画面越しに、マスクをしていても笑顔の皆さまとお話して元気を頂きたい。 本山久美子
A2 多くの団体の活動拠点においしさを届けて! 本山久美子

A1 協働のプロジェクトが「まちカフェ!」で立ち上がったこと。皆を取り組むことの意味が「団体間」に浸り溜った瞬間でした!
A2 協働プロジェクトのゴールを明確にし、具体的な成果を「まちカフェ!」で発表したいです! 長来洋二

A1 20年度で特筆するは、何とて在宅勤務とオンライン会議の普及だと思えます。この年を境に社会のあり方が大きく変わった。これは歴史の中で重要な年だと思えます。
A2 21年度は、開かれたリモートの世界と備用した新しい活動のあり方があがって来ると思っています。それを実現したいですね! 大谷

A1 「まちカフェ!」のイベントも絶対的に開催できるとのこと。(オンライン実行委員会の司会進行も体験していたので、ありがたかったです!)
A2 今回参加できた「まちカフェ!」団体 & おうえん隊の方々に「まちカフェ!」に感謝です。 柳山 亜美

Event Schedule

※今後予告なく講座内容等が変更になる場合があります。最新情報はサポートオフィスのHPでご確認ください。

サポートオフィスでは、これからも団体運営の力強い継続と発展をサポートするために、さまざまな学びの場を企画してまいります。詳細情報は決定次第、随時ご案内します。どうぞご期待ください!

5月開講 まちだづくりカレッジ

今号P1~3でご紹介した伴走型連続講座を5月より開講します。団体のビジョンやミッションをメンバーでじっくり議論しながら事業計画を作り上げる工程は、今までにない気づきと成果をもたらしてくれる、かけがえのない時間になるはずです。

6月開講 ファシリテーション基礎講座

「参加者全員が安心してさまざまな意見を言い合える会やイベント」を行うには、どんなことに注力するのでしょうか?本講座では、ファシリテーションの基礎を学びながら、実践で使える技術の習得を目指します。

8月開講 ファンドレイジング講座

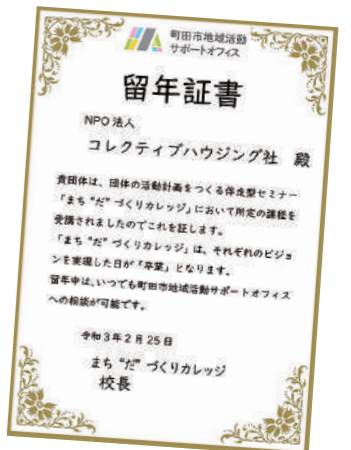
団体の運営に欠かせないファンドレイジング(資金獲得)のスキルを基礎から学びます。最終的にはファンドレイジング計画(実施内容、金額、スケジュールなど)を発表することを目指す新講座です。

今月のコンテンツ 今号では、団体支援の一環として実施している「まちだづくりカレッジ」の最終回に行われた事業計画発表会の様子の特集しました。団体のみなさんの素晴らしい発表が行われ、多様性を包み込み新たな価値を創造する地域活動の醍醐味を感じる2時間でした。巻末には、年度末にちなみ、サポートオフィスのスタッフから次年度に向けたメッセージを寄せ書きしました。ぜひご覧ください。

Now! | 伴走型連続講座「まちだづくりカレッジ」事業計画発表会を実施しました

未来志向の事業計画の作成を目的とした伴走型連続講座「まちだづくりカレッジ」(以下カレッジ)。2020年度2期生のみなさんは、2020年10月22日から計4回の講座の中で、団体のビジョン・ミッション、ターゲットとステイクホルダー、事業計画、そして広報・情報発信とファンドレイジングについて学んできました。最終回となった2月25日は、ここまで団体内やサポートオフィスのスタッフらと議論を重ねてきた事業計画をA3用紙一枚にまとめ報告する、事業計画発表会を実施。発表をした3団体(詳細は次ページ参照)が最後まで粘って作り上げた事業計画書の堂々としたプレゼンに、会場からは大きな拍手が送られました。

講師の長浜からは、「事業計画の作成に終わりはありません。今日、まさに事業計画の最初の一步を踏み出したところです。うまくいった時だけではなく、迷った時などもサポートオフィスを訪ねてきてください。みなさんの事業に伴走しながらこの先もずっと応援していきます」という言葉と共に、各団体へ「留年証書」が手渡されました。当日発表をされたみなさんのように、町田市で力強く活動を進めていける団体が増えていよう、サポートオフィスも引き続き様々なコンテンツを用意し、尽力していきたいとあらためて実感した1日でした。



▲「カレッジは、ビジョンを実現した日が「卒業」です」と書かれた留年証書。

発表会場

当日は、参加団体でもあるNPO法人コレクティブハウジング社の手掛ける住居「まちなもり本町田」のラウンジをお借りしました。解放感のある素晴らしい空間に心も弾みます。「いろいろな人がゆるやかにつながる暮らし」を掲げるコレクティブハウス「まちなもり本町田」では、随時説明会やイベントを実施されています。

興味のある方はこちらから詳細をご覧ください。

NPO法人コレクティブハウジング社
<https://chc.or.jp/>



用意したメッセージカードには、参加者から登壇した団体へあたたかい応援コメントが寄せられました。

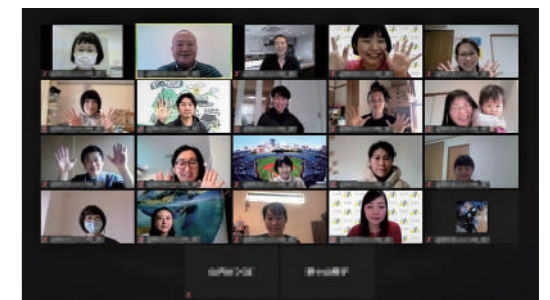


▲壁面側の全てを開くことができる窓を開放し、換気十分なかでの開催に。

カレッジ受講生でコラボレーションイベント実施!

カレッジ開催の目的の一つに「受講団体同士の交流・協働」があります。今季はすでにNPO法人コレクティブハウジング社とらぶあみ事務局の2団体がコラボレーションしたイベントが実施されました。団体の強みを掛け合わせた当イベントは、23名の方が参加し、盛会となりました。今後もカレッジで学び合った団体のみなさんが協働の輪を広げていけるようサポートさせていただきます。

NPO法人コレクティブハウジング社が主催したイベント「with/after コロナ2020年代の「まちだ」的子育て&暮らし方」には、らぶあみ事務局代表の西行さんがトークセッションに参加。まちの中に市民が生み出すコミュニティが多様に存在することは、地域の豊かさにつながることを実感したイベントでした。



次のページでは、カレッジの発表内容をご紹介します!



2月25日に開催された最終回では、

ここまでの学びを反映させた事業計画をA3用紙1枚にまとめ、団体ごとに発表しました。

制限時間10分のプレゼンタイムでは、いかにわかりやすく、

事業メッセージや今後の展開を相手に伝えられるかに集中し、

ご自分の言葉でいねいに説明される発表者の姿が印象的でした。

質疑応答では、発表団体のサポーターのみなさんや前期の受講生らと

熱心な意見交換が行われました。

ここでは、受講生のみなさんが

まとめた発表資料と共に、

お寄せいただいた感想をご紹介します。



発表後の集合写真。
カレッジに興味を持つ方々も
応援に駆けつけてくれました



NPO法人コレクティブハウジング社

<https://chc.or.jp/>

2020年度から事務所を本町田に移し、コレクティブハウス「まちのもり本町田」を拠点に、さまざまな団体や地域との関係性を創りながら活動を展開。コレクティブハウスの運営を通じ、一人ひとりが尊重され、信頼でつながる社会の実現を目指す。その住まいの在り方は、キッズデザイン賞やグッドデザイン賞でも高く評価され、今後の進展に注目が集まっている。



受講動機と受講した感想

「まちのもり本町田」という賃貸住宅を核とした地域づくりに挑戦する中で、多様な団体とつながりを作りたく受講しました。カレッジ同期のらぶふあみさんとのイベントを含め、協働への可能性を感じたことや、最終発表に向け全員で真剣に卒論制作に取り組めたこと等、すべてにおいて予想以上でした。

組織やメンバーに起きた変化について

メンバー間でビジョン、ミッションについて時間をかけて議論できたことで、コミュニケーションが高まり、アイデアを出しやすくなりました。カレッジ同期のがんばりに刺激を受け、互いに理解が深まり、結果的に町田という地域に団体として受け入れてもらえた気がしています。



受講動機と受講した感想

活動を本格的に始めるにあたり、どこから手をつけてよいかわからず不安だったため受講しました。講義やサポートオフィスの伴走支援は、経験や根拠に基づいたもので、地域活動に取り組むという難しさや醍醐味を感じました。課題の締め切りは、事業実現の方針を固める後押しになりました。

組織やメンバーに起きた変化について

組織体制を営利型にするのか、非営利型にするのか、その長所短所は何か?を考えられたことが大きな成果です。その中で、自分たちの事業は社会や地域へメッセージを投げかけていく起点だと気づくことができました。今後もカレッジ同期のみなさんと情報交換ができれば心強いです!



受講動機と受講した感想

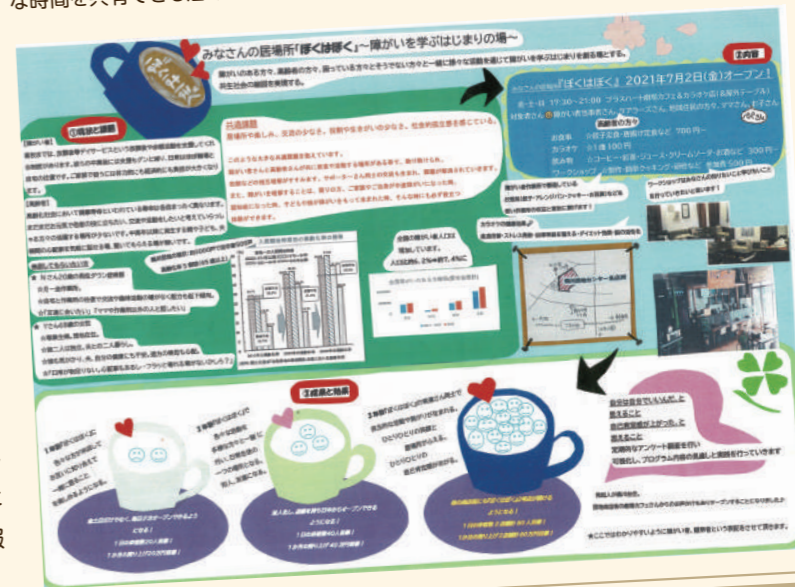
ここまで「想い」だけで続けてきた活動ですが、創刊3年目を迎え、活動の見直しと今後の方向性について考えたかったため受講しました。大変有意義な内容でしたが、メンバー全員が子育て中の主婦ということもあり、開催時間が子どもの送迎等と重なり大変だと感じることもありました。

組織やメンバーに起きた変化について

「らぶふあみ事務局」の今後の継続的なステップアップには何が必要なのかをメンバーで話す機会が増えました。カレッジに参加していた他団体の方から、活動について客観的な意見をいただいたことで、自分達だけでは気づけなかった事を、たくさん知ることができたのも収穫です。

障がいについて学ぶはじまりの場 みなさんの居場所 ぼくはぼく

障がいのある方、高齢者の方、お困りごとを抱える方たちと一緒に「障がいについて学ぶはじまりの場」の創造を目指し活動。2021年7月には、鶴川団地内において、みなさんの居場所「ぼくはぼく」をオープン予定。食事の提供だけでなく、カラオケやイベント、ワークショップ等の開催も準備を進めている。さまざまな交流を通じて、人生を彩る豊かな時間を共有できる居場所づくりに期待が寄せられている。



らぶふあみ事務局

<https://machidalovefami.amebaownd.com/>

町田で子育てをしている全ファミリーの生活やお出かけを楽しく・便利にするための、現役子育てママの視点がぎゅっと詰め込まれたフリーマガジンを2017年より発行。情報の発信にとどまらず、店舗へ子ども向けメニューや授乳室の設備等の提案を行い実現したり、親子向け・親向けの各イベントを企画・運営するなど、活動の幅を広げている。

